

# 大志を育む



令和元年12月10日

教育委員会だより

No. 32

発行：北広島市教育委員会

## 小中一貫教育推進のポイント

小中一貫・教育施策推進課 指導主事 黒川 淳司

令和3年11月には、北広島市を会場に小中一貫教育全国サミットが開催されます。1000～1500名が集まることとなりそうです。当然、全国大会に相応しいような実践発表をしなければならない、という各学校の心構えやその準備は重要であると思うのですが、子どもたちの姿は、十分に育ってきているとの声も聞こえますし、私もそのように感じる 경우가多くあります。北広島市の小中一貫教育は現在スタートして2年目、発表時は4年目となります。これまでにこのような導入初期段階の都市がサミット開催地となった例はありません。そうしたことから、全国を席捲するような秀でた実践を発表しなければならないと考えることが必要なのではなく、北広島市では、発表校だけでなくすべての学校が「何を大切にしているのか」を、「焦点化」して発表することこそ、重要であると考えています。その「大切にしているものとは何か」を、ひとつの例として考えてみました。

### 【中学校区でめざす児童・生徒の姿を練り直す】

「この姿に届くために、私たちの中学校区ではこう考えて、こう実践を重ねています。今日はその途中経過です。この「ねらい」達成のための実践です。目標への到達度合いを評価して、改善しながら進んでいます。」というのが発表の中核をなすべきだと思います。学校には多くの目標や重点が存在し、時にどれが大切なのか混沌とすることさえあるのが現実ですが、中学校区の全教職員が「めざす姿」(例えば「学校が好きな子どもを育てる」)に心から共感したとき、実践は大きな力となって子どもたちを伸ばすものと確信します。



北広島市イメージマスコット「エルフィン」

### 【9年間の一貫した指導とは何かを共通理解する】

教員として、小学校1年生から中学校3年生までの全教科について、指導内容や身に付けさせたい資質・能力をすべて十分に把握しているということは難しいことかも知れません。けれども、もしも自分がそれを身に付けていると仮定すれば、自信を持って「一貫した教育ができる」と感じられると思います。小学校の先生と中学校の先生が、一つの授業を窓口として育てたい子どもの姿について語り合い、教科として育てたい力、学習に立ち向かう子どもの姿、仲間づくりを基盤とした学級経営等、この段階でここまで育てたい、という各段階をイメージ化する作業を重ね、その幅をひとつひとつ広げていくことによって、徐々に自信を持って「一貫した指導」を身に付けることができると思うのですが、いかがでしょうか。

### 【子どもたちの実態に応じた教育課程を編成し、実施する】

公教育であるということと、個に応じた指導は矛盾するものではありません。石狩管内において基本的な指導計画の大元は共通ですが、中学校区における子どもたちの実態や課題に応じて重点化した指導計画を持ち、それを手元に置きながら毎日の指導にあたることは、労力を伴い且つ地味な取組ではありますが、子どもたちを「確実に伸ばす」ことにつながる、と考えています。教育委員会もがんばります。できるところから一歩ずつ、なおかつ、確実に前進しましょう。

# 広葉中学校区 2019年度 小中一貫教育の取り組み

広葉中学校区は、双葉小学校、広葉中学校の小学校1校、中学校1校の校区です。そのため、小中の連携は密で、2017年度の準備期間から、「学力・体力向上部会」、「大志学」推進部会、「豊かな心育成部会」、「連携・交流活動部会」の4つの部会を組織して、小中一貫教育の推進をしています。紙面の関係上一部を抜粋して紹介させていただきます。

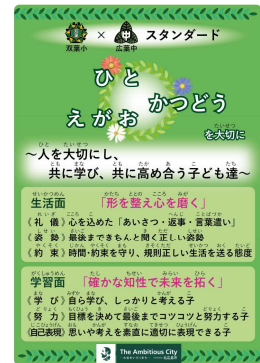
## (1) 広葉中学校区の「めざす子ども像」

双葉小×広葉中スタンダード

**ひと えがお かつどう を大切に**  
「人を大切にし、共に学び、共に高め合う子ども達」

「人を大切にして」には、①自分と向き合い努力を続ける、②他者を思いやる心を育むことを大切にできる人に成長してほしいという願いが込められています。

「共に学び、共に高め合う」には、さまざまな活動での学び合い、関わり合いを通して、お互いに高め合える集団となり、個人の成長にもつながってほしいという願いが込められています。



## (2) 9年間の学びを大切にした教科系統表の作成、学力、体力テストの分析結果の共有

昨年度までに作成した教科系統表（国語、算数・数学、社会、理科）では、学力検査（NRT）の領域別の全国比の数値を記入し、きめ細やかな指導に活かすよう工夫しています。また、全国学力量習状況調査、学力検査（NRT）、新体力テストの分析結果を小中学校間で共有し、指導の重点の設定に役立てています。



## (3) 乗り入れ授業、小中合同学習の実施

昨年度、5回（小6外国語・国語、小4音楽）の乗り入れ授業を実施しました。

今年度は広葉中の各教科の先生方の協力もあり、小学校への乗り入れ授業を19回（書道2、音楽2、美術2、体育3、英語10）の計画、実施をしています。対象学年も高学年に限らず3～6年生の各学年で実施することができました。また、体育科では、小5中2合同体力テスト（シャトルラン）に加え、今年度は、中1小5で合同授業（マット運動、倒立）の授業を行うことができました。



## (4) 小中連携・交流活動の実施

以前の「大志を育む」でも紹介しましたが、授業以外のさまざまな教育活動でも小中一貫教育を推進しています。夏休み部活動体験見学、小4中3合唱交流会、児童会生徒会交流会、小中合同あいさつ運動、小6中1小中合同ゴミ拾いボランティア、作品交流（壁新聞、点描画、ちぎり絵）などの連携交流活動をしています。



## (5) 地域・保護者への啓発活動

広葉中ホームページ、小中の学校だより、学年だよりなどで地域・保護者への発信をしています。また、4月の学校説明会や2月の小中一貫教育説明会で、地域・保護者へ情報提供しています。

さらに、校内の掲示板に写真やポスター等を掲示して来校した方々に小中一貫教育の取り組みが目に見えるようにしています。

